



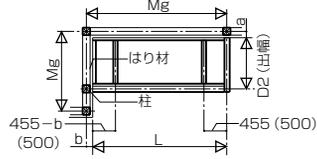


■取付け詳細

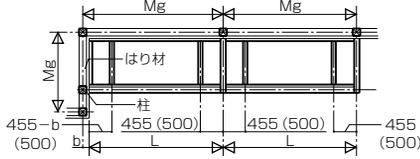
1 取付け寸法の確認

※袖壁の柱位置に桁、壁付け柱が取付けられる寸法に設定します。

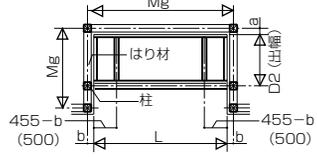
●片袖タイプ(単体)



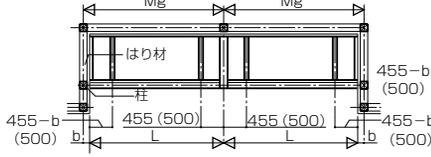
●片袖タイプ(連結)



●両袖タイプ(単体)



●両袖タイプ(連結)

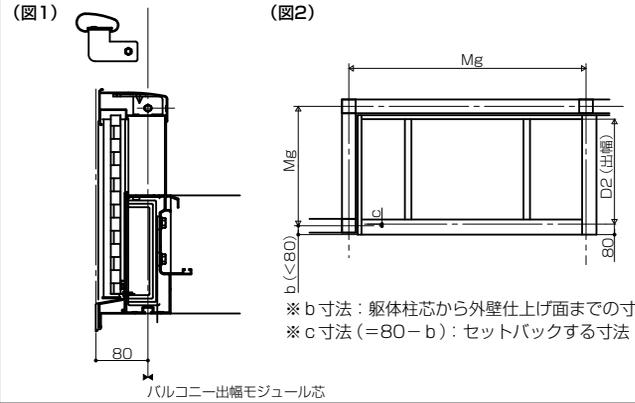


●納まり図にしたがって基本寸法を決定します。  
※袖壁のバルコニー取付け部の下地には、必ず柱やはりなどの構造材が入るよう、工務店様と打合わせをしてください。

※ a・b 寸法は、躯体柱芯から外壁仕上げ面までの寸法を示します。  
※ ( ) 内寸法は、メーターモジュール用を示します。

【B型・C型の場合】

※バルコニー出幅Dのモジュール芯からバルコニーの正面先端までの距離が80mmあります。(図1) 躯体柱芯から外壁仕上げ面までの寸法bが80mm未満の場合、バルコニー部材の小口が外壁仕上げ面より飛び出さないよう、バルコニー出幅Dを躯体柱芯より躯体側にずらすと(図2)調整してください。



2 部材の加工

【A型の場合】

●各部の基本寸法をもとに形材を切断します。  
※両袖タイプの場合、両端を均等に切断してください。

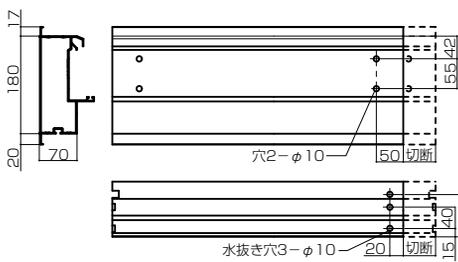
(切断寸法公式表)

タイプ	部材名	片袖タイプ	両袖タイプ
A型	前桁	L-60	
	根太掛け(柱芯用)	L-62	
	根太掛け(銅差し用)	現場加工は不要です。	
	根太掛け(銅差し・端部用)	455-b-61 (500-b-61)	
	※両袖の場合、端部用左右各1本ずつ切断。( )内はメーターモジュール		
	根太掛けカバー	L-62	
	前笠木	L-28	L-4
	前手すり	L-5	L-6
	妻ばり	D+28	使用しません。
	はり	D-35	
	後付け用はり	D-40	
	端部用根太	D-56	
	根太	D-50	
	妻笠木	D-33	使用しません。
	妻手すり	D-61	使用しません。
片袖用ばり	D-35		
中間ばり	D+28		
端部用根太(連結用)	D-56		
端部用根太カバー	D-82		
雨どいカバー	D-80		

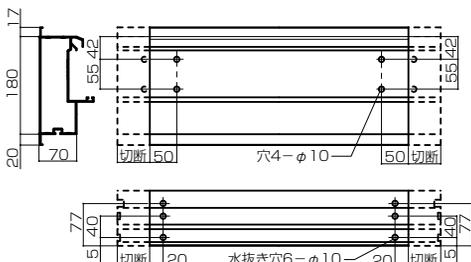
■各部材の加工

※本図は内観右側が袖壁タイプを示します。  
左側用は本図と対称とします。

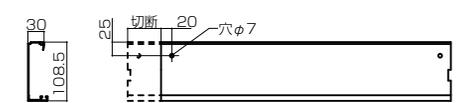
●前桁(片袖タイプ)



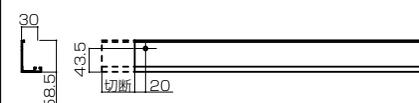
●前桁(両袖タイプ)



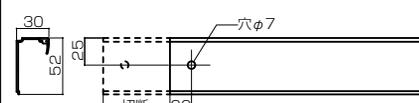
●根太掛け(柱芯用)



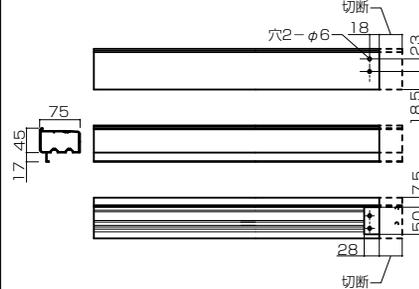
●根太掛け(銅差し・端部用)



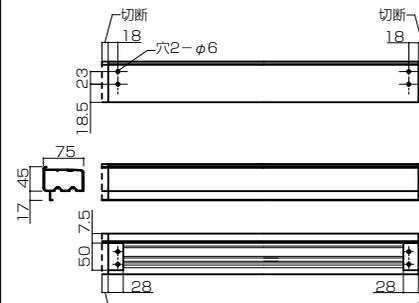
●根太掛けカバー



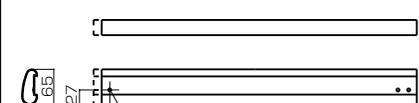
●前笠木(片袖タイプ)



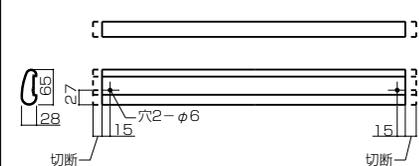
●前笠木(両袖タイプ)



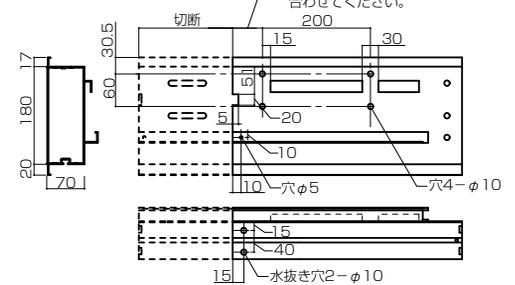
●前手すり(片袖タイプ)



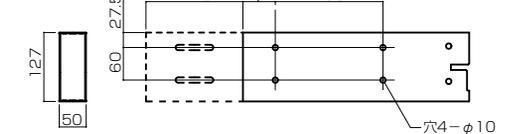
●前手すり(両袖タイプ)



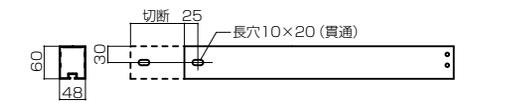
●妻ばり



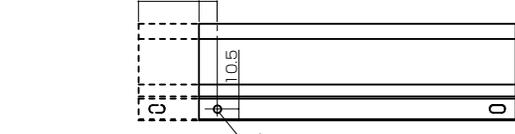
●はり



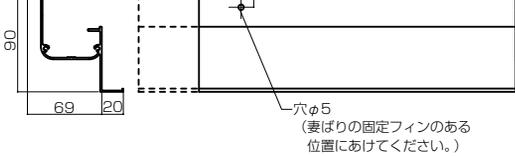
●後付け用はり



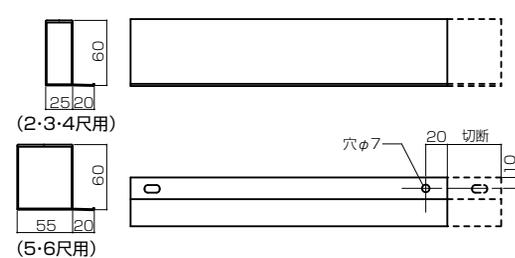
●端部用根太



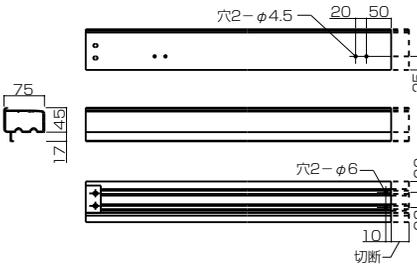
●根太



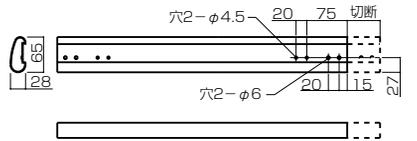
●根太



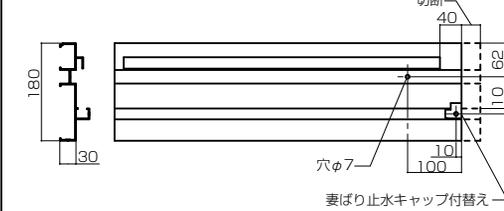
●妻笠木



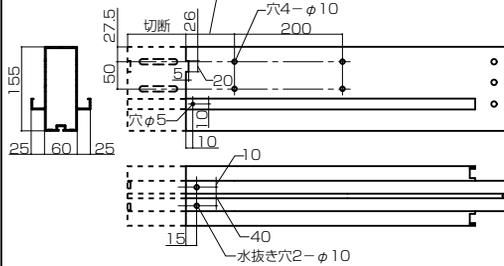
●妻手すり



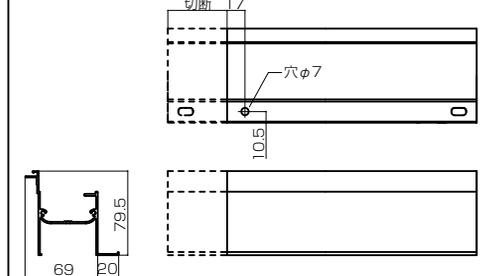
●袖用妻ばり



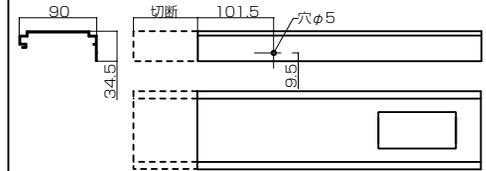
●中間ばり



●端部用根太(連結用)



●端部用根太カバー



●雨どいカバー

※切断のみ(キャップは付替えてください。)

【B型・C型の場合】

●各部の基本寸法をもとに形材を切断します。  
※両袖タイプの場合、両端を均等に切断してください。  
【切断寸法公式表】

タイプ	部材名	片袖タイプ	両袖タイプ
B・C型 共通	前桁	L-60	
	前水切り	L-62	
	根太掛け(柱芯用)	A型を参照してください。	
	根太掛け(胴差し用)	現場加工は不要です。	
	根太掛け(胴差し・端部用)	A型を参照してください。	
	根太掛けカバー	A型を参照してください。	
	妻ばり	D+28	使用しません。
	妻水切り	D+28	使用しません。
	はり	A型を参照してください。	
	後付け用はり	A型を参照してください。	
	端部用根太	A型を参照してください。	
	根太	A型を参照してください。	
	片袖用妻ばり	A型を参照してください。	
中間ばり	D+28		
端部用根太(連結用)	A型を参照してください。		
端部用根太カバー	D-82		
雨どいカバー	D-80		
B型	前笠木	L-32	L-4
	前手すり	※L-5	※L-6
	妻笠木	D-37	使用しません。
C型	前笠木	L-32	L-4
	前手すり	L-13	L-6
	前横格子カバー	L+3	L-110
	前横格子アタッチ	L+3	L-110
	妻笠木	D-37	使用しません。
	妻手すり	D+18	使用しません。
	前横格子カバー	D-2	使用しません。
前横格子アタッチ	D-2	使用しません。	

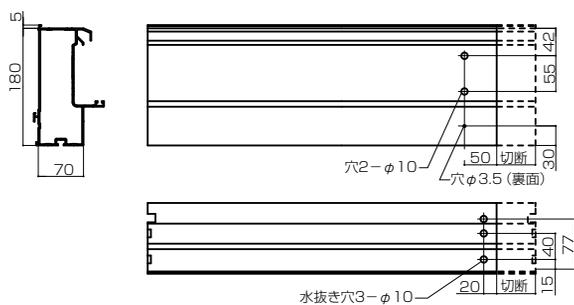
※加工図はA型を参照してください。

■各部材の加工

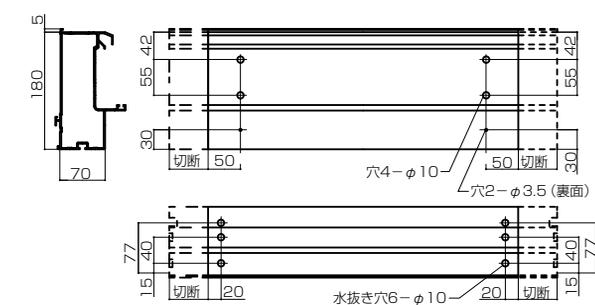
※本図は内観右側が袖壁タイプを示します。  
左側用は本図と対称とします。

(B型・C型共通部材)

●前桁(片袖タイプ)

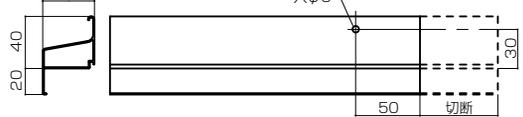


●前桁(両袖タイプ)

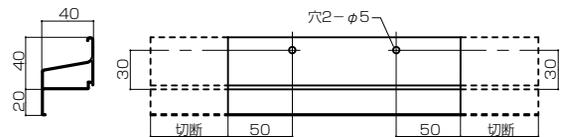


●前水切り(片袖タイプ)

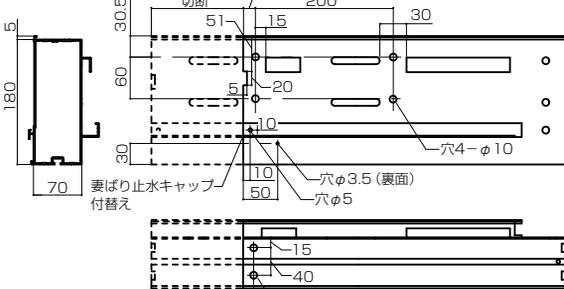
●妻水切り



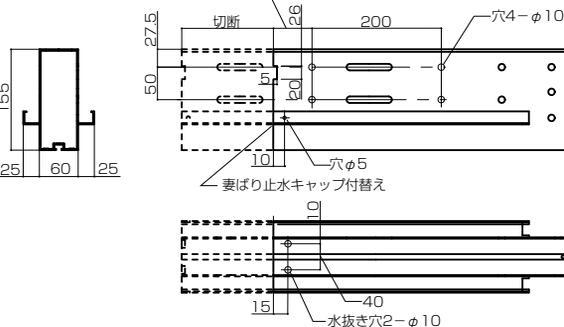
●前水切り(両袖タイプ)



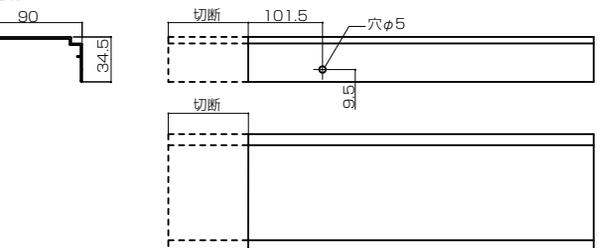
●妻ばり



●中間ばり



●端部用根太カバー



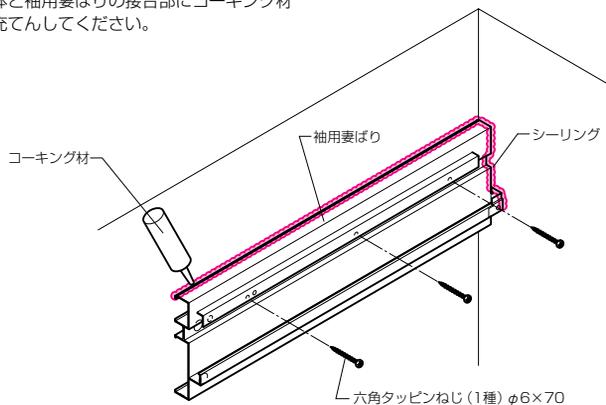
●雨どいカバー

※切断のみ(キャップは付替えてください。)



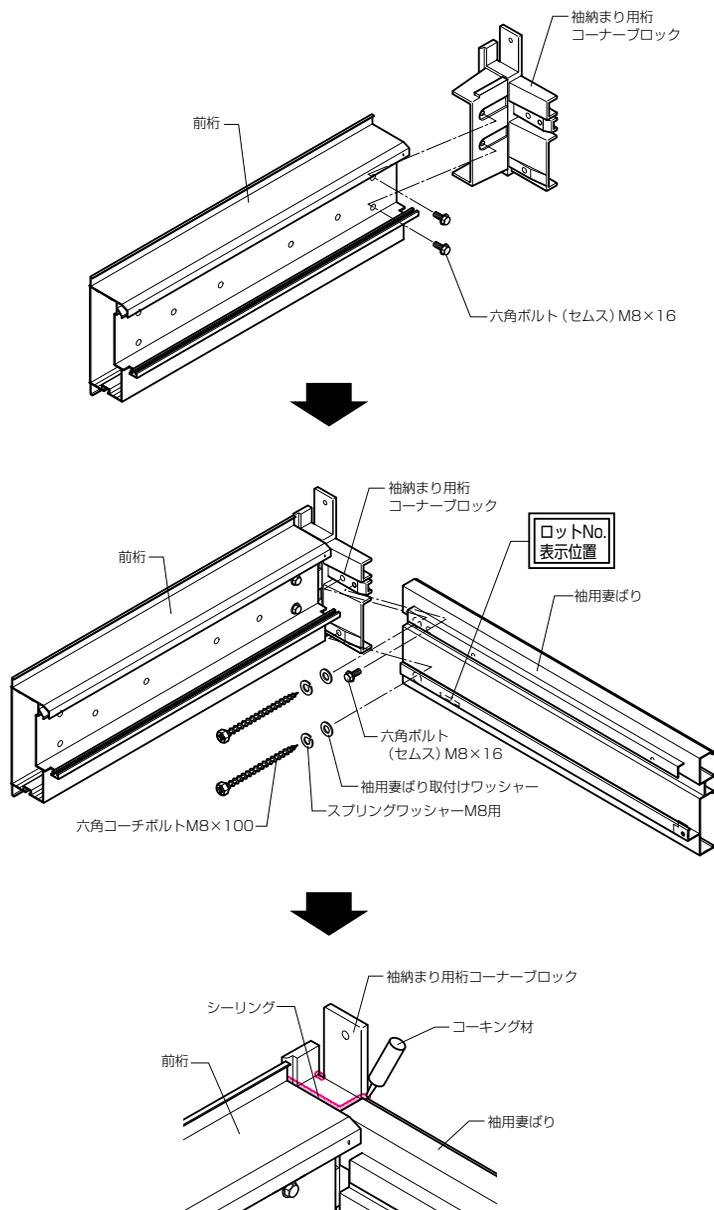
### 3 袖用妻ばりの取付け

- ① 躯体に袖用妻ばりを固定します。  
※ 下穴 (φ4.3) にコーキング材を充てんしてください。
- ② 躯体と袖用妻ばりの接合部にコーキング材を充てんしてください。



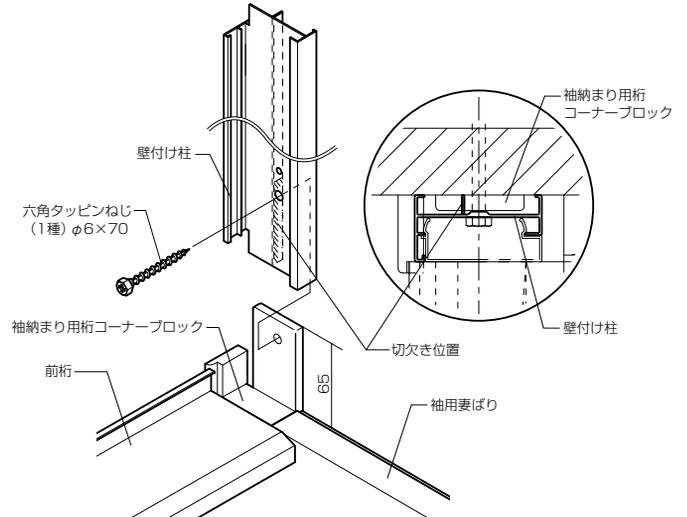
### 4 前桁の取付け

- ① 前桁に袖納まり用桁コーナーブロックを取付けます。
- ② 袖用妻ばりに、袖納まり用桁コーナーブロックを挿入し六角ボルトM8×16で固定します。
- ③ 躯体と袖納まり用桁コーナーブロックを六角コーチボルトM8×100で固定します。  
※ 下穴 (φ4.3) にコーキング材を充てんしてください。
- ④ 躯体と袖納まり用コーナーブロックの接合部にコーキング材を充てんしてください。

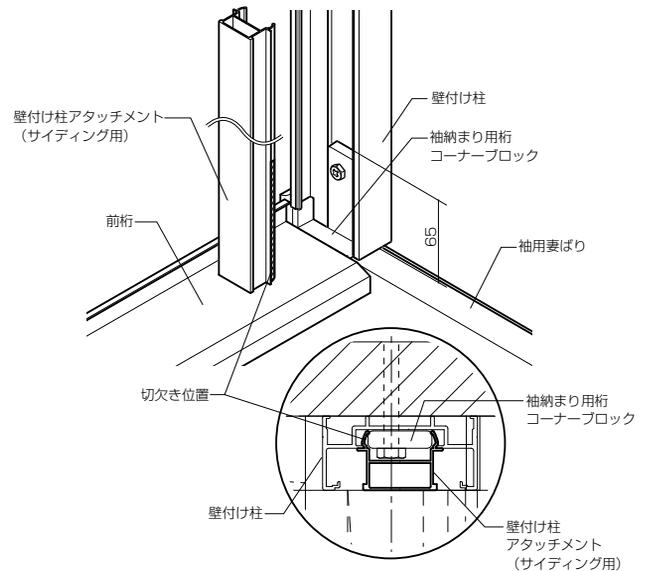


### 5 壁付け柱・壁付け柱アタッチメントの取付け

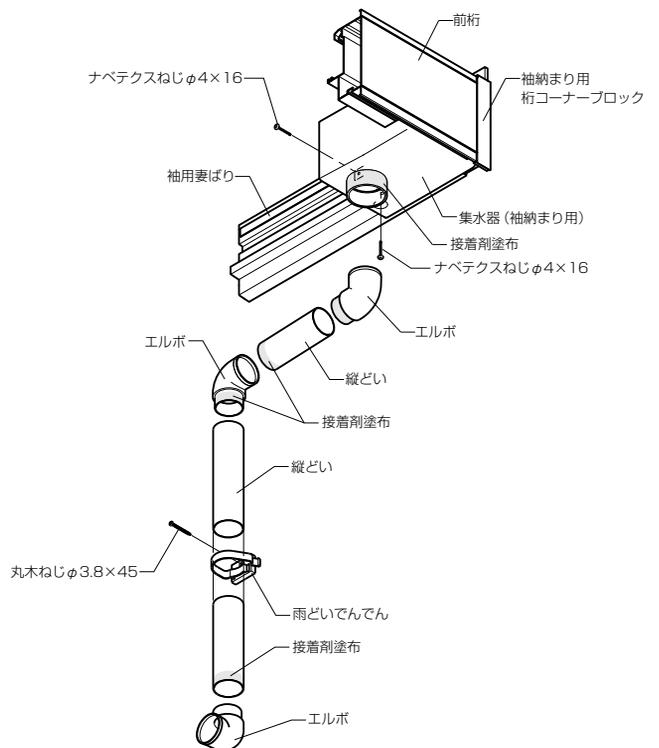
- 袖納まり用桁コーナーブロックとの干渉部を切欠いて壁付け柱・壁付け柱アタッチメントを取付けてください。
- A型の場合…壁付け柱を切欠いてください。



- B型・C型の場合…壁付け柱アタッチメントを切欠いてください。

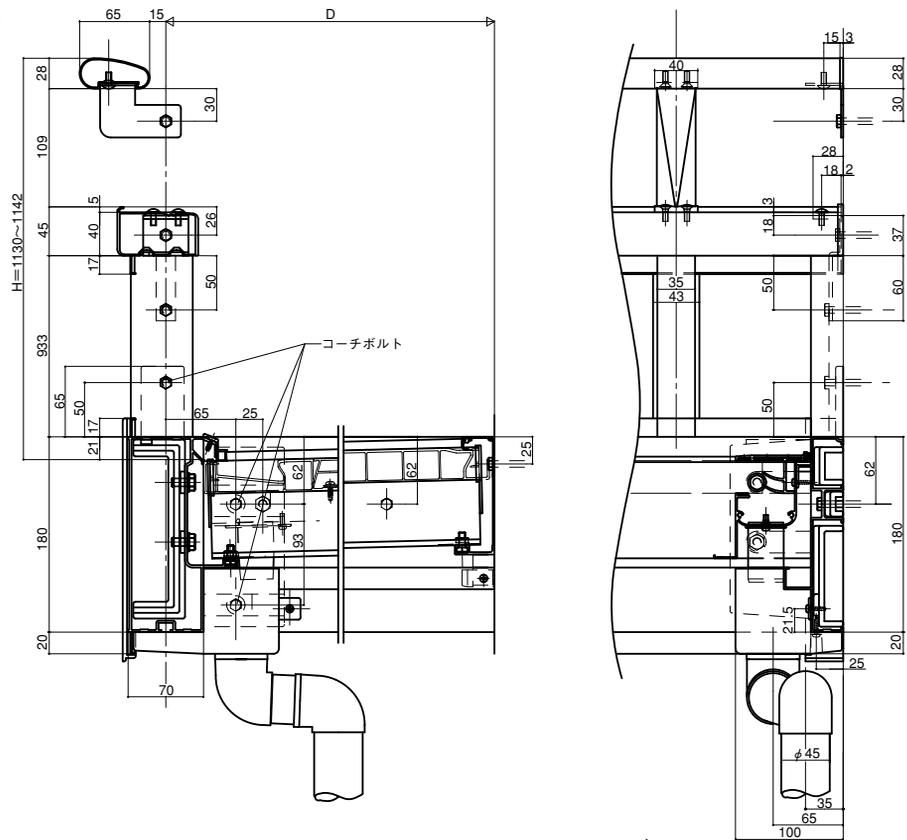


### 6 雨どいの取付け

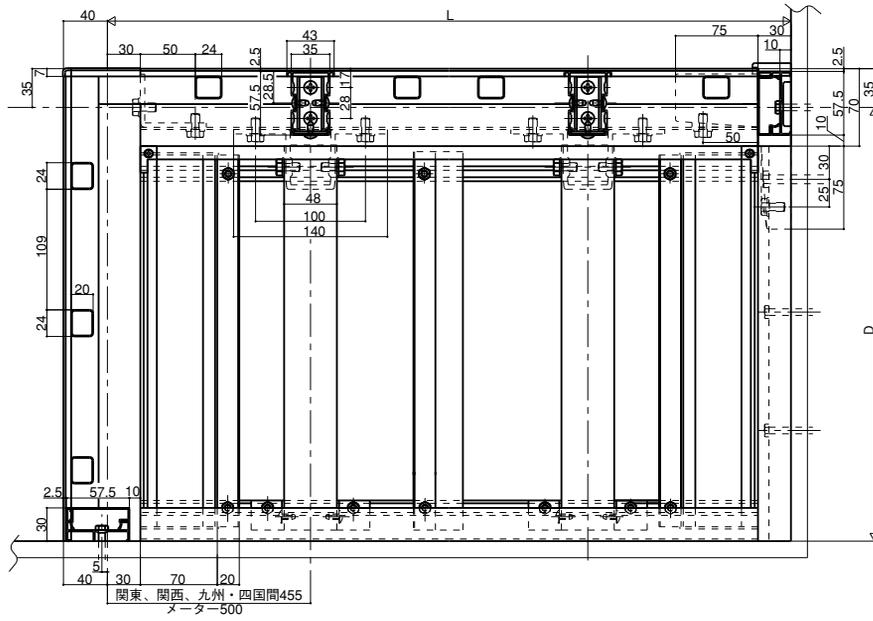


■納まり図

●側面・正面基本図 (A型 片袖・両袖タイプ)



●平面図 (A型 片袖タイプ)



●平面図 (A型 両袖タイプ)

